

第5学年国語科学習指導案

日 時 平成24年10月11日(木) 4校時
児 童 5年生21名(男子7名, 女子14名)
指導者 阿 部 里 美

1 単元名 作品を自分なりにとらえ, 朗読しよう
教材名 「大造じいさんとガン」 椋 鳩十 作 (光村図書 5年)

2 単元について

(1) 児童について

児童は, これまでに, 「あめ玉」の学習を通して, 場面の様子や登場人物の気持ちを想像し, それが表示するように音読する学習を行った。また, 「のどがかわいた」の学習を通して, 視点人物の存在を知り, 中心人物や対人物の人物像をとらえたり, 人物どうしの関係の変化を読み取ったりする学習を行った。これらの学習を通し, 児童は声の高さや間の取り方などを工夫して音読したり, 叙述をもとに場面の様子や人物相互の関係, その変化を読み取ったりすることができるようになってきた。

しかし, 登場人物の心情を深く想像することができず, 読み取ったことを音読に十分生かしきれていない児童が多い。

以上の実態から, 現段階での本学級の児童に育てたい力は, 叙述に沿って登場人物の心情やその変化をより深く読み取ったり, そのことを朗読に反映させたりする力であると考え。

(2) 単元の指導事項

児童の実態に即し, 本単元では, 第5・6学年「C読むこと」における以下の指導事項を, 育てたい言語能力としてより詳細にとらえ, 単元を通して具体的に指導していく。

◆育てたい言語能力◆

読むこと

- 自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。 【読(1)ア】
 - ・音読と朗読の違いがわかり, 自分なりに解釈したことや, 感心や感動したことなどが聞き手に分かるように朗読する。
 - ・友達の朗読に対して, 感想や助言を伝える。
- 登場人物の相互関係や心情, 場面についての叙述をとらえ, 優れた叙述について自分の考えをまとめること。 【読(1)エ】
 - ・「情景」の意味がわかり, 情景描写や行動・様子などから人物の深い心情や性格, 変容をとらえる。
 - ・優れた叙述に気づき, 独特の表現と作品全体の雰囲気との関係を考える。

(3) 教材について

本教材は, 一人の狩人が, 群れを率いるガンの頭領の人間的な行動に心を打たれ, 動物に対する敬愛の念や人間としての尊厳に気付かされていく物語である。物語は, 大きく2つの構成「前書き」と「本文」とに分けられている。「本文」の部分にはさらに, 1年間という区切りごとに出来事を配した「1」から「4」のまとまりに分けられており, 「起・承・転・結」の典型的な構成になっている。「本文」は, 大造じいさんの気持ちに寄り添って描かれており, 行動を示す細かい描写や心情と一体となった情景描写などによって, ガンの頭領「残雪」に対する大造じいさんの心情が巧みに表現されている。児童が中心人物の心情に寄り添いながら自分の思いや考えをもち, それを朗読へと反映させていくのに適した教材であると考え。

(4) 単元の指導にあたって

本単元の最終的なねらいは、優れた表現によって、直接描かれていない人物の深い心情や性格について想像し、自分なりの考えや思いを朗読で表現することである。音読と朗読の違いを理解しながら、作品を読んで自分なりに感じたことや考えたことを、聞き手にもよく味わってもらえるように表現を工夫して朗読することが重要となる。

そこで、児童の実態と育てたい言語能力とを考慮し、以下のような単元の指導を計画した。

<単元を通じた言語活動>

作品を自分なりにとらえ、朗読する。

第1次（2時間）…… 単元のめあてを知り、学習の見通しをもつ。

単元の導入として、作者の紹介や関連図書の紹介を行い、児童の学習意欲や読書意欲を高める工夫をする。そして、単元名やリード文から「朗読発表会をする」という単元のゴールを確認する。その際、児童にとっては初出となる「朗読」について、音読との違いを意識できるように、範読を聞かせて具体的なイメージをもたせるようにする。また、朗読を行う際には、作品を自分なりにとらえることが大切であり、自分が読んで感じたことや考えたことをどう表現していくかを考えさせる必要がある。そのために、学習計画を立てて課題の解決を図るとともに、作品に対する自分の考えを深め、まとめていくという学習の目的や見通しをもたせるようにしたい。

第2次（4時間）…… 作品を深く読み、登場人物の人物像や心情の変化をとらえ、自分なりに読み深めたことを朗読に生かす。

第2次では、「残雪」に対する大造じいさんの見方や心情の変化、その人物像を読み取りながら、朗読のしかたを考えていく活動が中心となる。その際、人物の会話や行動、様子だけでなく、初出である「情景」からも人物の心情が読み取れることに気づかせ、表現のよさやその効果を味わわせながら朗読に生かせるようにしたい。

自分なりの読みを深めるために、まず、「会話文・心内語」や情景、行動などの描写に着目させ、中心人物の心情の変化や人物像、ものの見方や考え方などをワークシートに個人で書き込みをさせる。次に、グループでそれぞれ読み深めたことを交流し合い、自分の考えを広げたり深めたりさせていきたい。その際、自分なりに作品を読んで感じたことや考えたことが伝わるように朗読のしかたも工夫させていく。

最後には、学習のまとめとして、好きな場面を選んで、グループごとに朗読発表を行う。聞き手は、相手がどの表現からどのようなことを想像したか、それがわかるように朗読のしかたを工夫しているかについて感想や助言を伝える。これらの活動を通して、朗読の質を高めていくようにしたい。

第3次（3時間）…… 並行読書してきた作品から好きな場面を選び、朗読発表会をする。

第2次の活動を生かし、並行読書してきた作品から自分の好きな場面を選び、6年生を招待して朗読発表会を行う。まず、朗読のしかたとその理由をワークシートに書き込みをさせる。次に、グループでお互いの朗読を聞き合い、感想や助言を伝えながら朗読のしかたを工夫させ、くり返し朗読練習を行う。発表会では、6年生から助言や感想をもらい、それをもとに自分たちの朗読のしかたを振り返ることで、この学習のまとめとしたい。

3 単元目標及び指導計画・評価規準（読む9時間）

単元 の 目標	<p>国語への関心・意欲・態度</p> <p>○文章から読み取ったこと、自分なりに感じたことや考えたことをもとに朗読しようとしている。</p>		
	<p>読むこと</p> <p>○自分の思いや考えが伝わるように朗読することができる。 【読(1)ア】</p> <p>○登場人物の相互関係や心情、場面の様子をとらえ、情景描写や優れた叙述に対する自分の考えをまとめることができる。 【読(1)エ】</p>		
<p>伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項</p> <p>○言葉や表現に気をつけて、様子を想像することができる。 【伝国(1)イ(オ)】</p>			
次	時	主な学習活動	評価規準（評価方法）
第 1 次	1	<p>○単元名とリード文を読み、学習内容を確認する。</p> <p>○「朗読」と音読との違いを話し合う。</p> <p>○全文を範読し、感想を書く。</p>	<p>【関】初発の感想をもち、学習の見通しをもとうとしている。 (ノート, 発言)</p>
	み と お す	2	<p>○感想を交流し合う。</p> <p>○場面構成や登場人物、場面や心情の変容、山場など、物語の概要を確認する。</p> <p>○学習課題、学習計画を話し合い、朗読したい場面を選び、グループ分けをする。</p>
第 2 次	3	<p>○「1」の場面を用いて、朗読のしかたを話し合う。</p> <p>○「情景」について理解し、その効果について話し合う。</p>	<p>【読エ】「情景」について理解し、朗読の観点に沿って朗読のしかたを工夫している。 (ノート, 発言)</p>
	4 ・ 5	<p>○「2」～「4」の場面から、自分の選んだ場面の様子や人物の心情を叙述に沿って想像しながら、感じたことや考えたことをワークシートに書き込む。</p> <p>○グループにわかれて、それぞれの場面から感じたことや考えたことを交流する。</p>	<p>【読エ】朗読するために、登場人物の相互関係や心情、場面の様子をとらえ、優れた叙述に対する自分の考えをまとめている。 (ワークシート)</p>
	ふ か め る	<p>○グループでの話し合いをもとに、自分なりに読み深めたことに加除修正を加える。</p> <p>○読み深めたことをもとに、朗読のしかたを考える。</p>	<p>【伝国(1)イ(オ)】叙述に沿って、場面の様子や人物の心情を想像している。 (ワークシート, 観察)</p>
第 3 次	6	<p>○場面を読み深めたことが伝わるように朗読のしかたを工夫しながら、朗読練習をする。</p> <p>○グループごとに、朗読発表する。</p> <p>○学習のまとめをする。</p>	<p>【読エ】自分なりに解釈したことが伝わるように、朗読のしかたを工夫している。(ワークシート, 観察)</p>
	7	<p>○並行読書の作品から好きな場面を選び、自分なりに読み深めたことやどのように朗読するのかをワークシートに書き込む。</p>	<p>【関】物語を読んで感じたこと、考えたことを朗読に生かそうとしている。 (ワークシート)</p> <p>【読エ】物語を自分なりに読み深め、それをもとに朗読のしかたを書き込んでいる。(ワークシート, 観察)</p>
	ひ ろ げ る	8	<p>○朗読のしかたを工夫しながら練習を行う。</p> <p>○朗読を聞き合い、お互いに感想や助言を伝える。</p>
	9	<p>○6年生を招待し、朗読発表会をする。</p> <p>○6年生から助言や感想を聞き、学習のまとめをする。</p>	<p>【読ア】自分なりに解釈したことが伝わるように朗読している。 (ワークシート, 観察)</p>

4 本時の指導（5／9）

（1）目標

朗読するために、登場人物の相互関係や心情、場面の様子をとらえ、優れた叙述に対する自分の考えをまとめることができる。

（2）指導の手立て

研究主題と関わり、本時では、考えを形成し表現できるようにするために、以下のような手立てを組む。

- ①自分なりの読みを深めるために、グループで意見交流をさせる。
- ②自分なりの読みを確かめるために、ワークシートの書き込みを修正させる。

（3）展開

	学習内容（番号）と主な発問・指示（○）	指導上の留意点 ◎【評価】（方法）
みとおす 5分	<p>1 学習課題を確認する。</p> <p>自分なりに読み深め、朗読のしかたを工夫しよう。</p> <p>2 前時の学習を想起する。</p> <p>○朗読したい場面を選び、場面の様子や大造じいさんの心情がわかる表現を見つけ、どのように朗読したらよいか、それぞれに書き込みましたね。</p> <p>3 解決の見通しを立てる。</p> <p>○今日は、どのように朗読すれば読み取ったことが聞き手に伝わるか、グループで交流し、自分の朗読に生かすようにしましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりに場面を読み、感じたことや考えたこと、朗読のしかたをワークシートに記入してあるか、確認する。 ・友達との交流を通して、人物の心情や場面の様子をさらに読み深め、よりよい朗読の工夫につなげていくことを確認する。
ふかめる 35分	<p>4 学習課題を解決する。</p> <p>(1)グループで交流し合う。</p> <p>○自分なりに読み取ったことをもとに考えた朗読の工夫を発表し合い、意見交流をしましょう。もう少し詳しく説明してほしい場合は、質問しても構いません。</p> <p>話し合いのときに気をつけてほしいことを3点確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような考えで朗読を工夫しているか。文章をもとに意見を交流してください。 ・声の高低や強弱、間の取り方、速度などの朗読の工夫のしかたは適切かどうか。必要があれば、声を出して読んでみることも大事です。 ・グループとしての考えがまとめられるといいですが、さまざまな意見が出た場合は、その意見を参考に分担者の考えに任せましょう。次の時間のグループ練習で、また相談してください。 <p>(2)自分なりの読みを深める。</p> <p>○グループでの話し合いをもとに、もう一度、場面を読み深めましょう。友達の見解を聞いて、感じたことや考えたこと、朗読のしかたでくふうしたいことなども書き込んでください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「 」や情景描写などのさまざまな叙述から、場面の様子や大造じいさんの心情や人物像、その変化を想像し、お互いに読み取ったことを話し合わせる。 ・リーダーを中心に、それぞれの読み取ったことを尊重しながら話し合いを進めるように指示する。 ・叙述などの表現から大きく逸脱した解釈については、修正を加えてもよい。 ・朗読のしかたについても意見交流させる。 <p>◎【読エ】朗読するために、登場人物の相互関係や心情、場面の様子をとらえ、優れた叙述に対する自分の考えをまとめることができる。 (ワークシート、観察)</p>

ま と め る 5 分	<p>5 学習のまとめをする。</p> <p>(1)学習を振り返る。 ○今日の学習をふり返って、どのようなことがわかりましたか。</p> <p>(2)「学び方」を確認する。</p> <p>(3)次時の学習について知る。 ○今日話し合ったことをもとに、朗読のしかたを工夫しながらそれぞれのグループで練習をして、場面ごとに朗読発表していきます。</p>	<p>・「 」だけではなく、情景などの優れた表現に気をつけながら場面の様子や登場人物の心情をより深く想像し、そのことが伝わるように声の高低や強弱、間のあけ方、速度などの朗読のしかたを工夫することを確認する。</p>
----------------------------	---	---

(4) 本時の評価

評価 (評価方法)	十分満足できる	おおむね満足できる	努力を要する 児童への手立て
朗読するために、登場人物の相互関係や心情、場面の様子をとらえ、優れた叙述に対する自分の考えをまとめている。 (ワークシート、観察)	<p>・叙述をもとに登場人物の相互関係や心情、場面の様子をとらえ、情景描写の内容およびその効果について、自分の考えをワークシートにまとめている。</p> <p><期待される児童の例> ・ぼくは P113 の「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました」という情景描写から、大造じいさんの自信の表れと今日こそは残雪を仕留めてやるという意気込みを感じた。いつもの朝ではなく、大造じいさんにとっては特別な朝になっていると思うので、前の文から少し間をあけて力強く朗読するようにしたい。</p>	<p>・叙述をもとに登場人物の相互関係や心情、場面の様子をとらえ、情景描写の内容について、自分の考えをワークシートにまとめている。</p> <p><期待される児童の例> ・ぼくは P113 の「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました」という情景描写から、大造じいさんの今日こそは残雪を仕留めてやるという意気込みを感じた。だから、この部分は力強く朗読するようにしたい。</p>	<p>・大造じいさんの会話や行動に着目させ、気持ちを想像させる。</p> <p>・情景描写から伝わるイメージを想像させ、大造じいさんの気持ちとつなげて考えさせる。</p>

(5) 板書計画

